

広島県の 再生可能 エネルギー

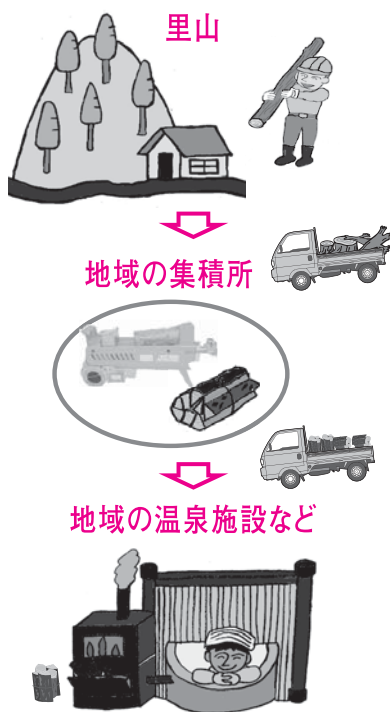
⑥ 森林資源・水資源

豊かな木質バイオマス 身近な利用を促進

最終回は、太陽光発電以外の再生可能エネルギーとして、木質バイオマスと小水力をご紹介します。

「バイオマス」は、生物に由来する資源のことです。バイオマス燃料も、二酸化炭素を排出しますが、生物の成長過程で光合成により大気中から吸収した二酸化炭素です。炭素が、化石燃料と異なり、人間の経済活動におけるライフサイクルの中では大気中の二酸化炭素の増減に影響しないので、「カーボンニュートラル」な燃料として、その普及が図られています。

木質バイオマス熱利用のイメージ



個人山林所有者などにより、里山手入れにより、未利用材を搬出

薪やチップに加工

薪やチップを木質バイオマスボイラーで熱利用

化炭素ですから、化石燃料と異なり、人間の経済活動におけるライフサイクルの中では大気中の二酸化炭素の増減に影響しないので、「カーボンニュートラル」な燃料として、その普及が図られています。

バイオマスの中でも、代表的なものが木質バイオマスです。広島県では、県土の72%が森林であり、豊かな木質バイオマス資源が存在しています。

県内では、昨年4月に、未利用材を発電用ボイラーの燃料として利用する木質バイオマス発電所が廿日市市にオープンし、呉市においても、新たな発電所を建設中です。

また、近年では、小規模ながら、地域で熱源利用される事例もみられるようになりました。北広島町では、地域が一体となって、里山の手入れから発生する未利用材を、薪に加工し、地域の温浴施設でボイラーの燃料として活用する取り組みが進められています。庄原市や安芸太田町においても同様の取り組みが進められており、県ではこうした身近な熱利用を促進していくこととしています。

このほか、広島県の特徴的な再生可能エネルギーには、水の流れて水車(タービン)を回転して発電する小水力発電があり、老朽化した施設の更新やダム放流水を利用した発電所の整備が進められています。

昨年12月に開催されたCOP21では、温室効果ガス排出削減について、歴史上はじめて、すべての国が参加する「パリ協定」が採択され、今後、国の内外を問わず、地球温暖化対策が一層強化される見通しです。皆さまも身近な地

球温暖化対策として、再生可能エネルギーに対する理解を深めていただき、できることから、着実に取り組んでいただくようお願いいたします。

シリーズ終わり
(広島県環境政策課)



⑥ 総括

これまでの連載で、健康で長生きするために大切な口(口腔)のケアについてご紹介してきました。最近では、1日に2回以上ブラッシングする方は7割以上、歯間清掃具や洗口液を活用される方も増えていいます。では現状、どれくらいの方が自身の歯を維持できているのでしょうか。しつかりと何

でも噛むために必要と言われている20本の歯を維持できている人の割合は、平成23年度の調査で、60代で74%、70代で50%、80代以上で25%となっています。この割合は年々増えてきて

し歯や歯周病にかかっている歯をお持ちのかたもたくさんいらっしゃるでしょう。これらの病気が、進行に気づきにくく、気づいたときには元の健康な状態に戻せないことが多いのです。対応

となります。近年予防に熱心な歯医者さんが増え、薬剤師さんは健康相談、かかりつけの薬剤師さんになろうとしています。セルフメディケーション(※推進のために、お

一生自分の歯でイキイキと治療から予防の時代へ

サンスター株式会社 OTC推進室・薬剤師 田子森順子

ており、歯への意識の向上が着実にあらわれていると言えます。

しかし、すべて健康な歯を維持できているかというと、残念ながらそうではありません。抜歯には至らないものの、む

策としては、毎日の生活に、右下表のようなお口にとって良い習慣をひとつでも多く取り入れ、継続することが大切です。逆に、悪い習慣はできるだけ続けない、ということもポイント

※セルフメディケーション
自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること。
(WHO世界保健機構)

店で購入できるお薬の幅も広がってきており、昨年9月には薬局や薬剤師さんのいるドラッグストア等で購入できるむし歯予防薬「フッ化物洗口剤」も発売されました。日本でも治療のためではなく、予防のために、お金や時間をか

ける時代が来ていると思います。

歯医者さんや薬剤師さんなど身近な健康のプロに、チェックやアドバイスをもらいながら、いつまでも健康な「お口」と「体」で素敵に歳を重ねられたらいいですね。シリーズ終わり

お口に関するよい習慣例

○セルフケア

毎食後の歯みがき
・歯間清掃具の活用
・就寝前は特に丁寧にフッ化物洗口剤の使用(歯質強化)
間食(甘いもの)を減らす
禁煙 など

○プロフェッショナルケア

予防のための定期歯科受診
・むし歯や歯周病のチェック
・お口の汚れのチェック
・ブラッシング指導
・歯垢や歯石の除去
・プロによるフッ化物塗布 など

平成27年11月17日に、安芸高田市公衛協甲田支部と福山市公衛協西部ブロック会の体験交流事業が行われました。

この事業は、複数の市町公衛協が、相互の活動や体験を共有すること、地域交流の促進を図ることを目的として実施しており、当協会が開催経費の一部を助成しています。

今回は、福山市西部ブ

ロック会から安芸高田市への申し入れで実現し、平成27年度は、①府中市／福山市道上学区、②庄原市／三次市に続く、3件目の事業です。

当日は、安芸高田市の資源ごみ分別の様子を視察した後、甲田支部が力を入れている資源ごみの分別回収と通学路の除草を中心に、各支部で行っている不法投棄パト

ロール、重点地区清掃などの取り組みを報告しました。

また、福山市公衛協西部ブロック会からは、小学校の学区単位での環境啓発ポスター・標語コンクールへの参加、環境美化活動の手法などが報告されました。



25 安芸高田市公衛協
【視察交流事業】

質疑応答では、高い目標達成率を維持する甲田支部での募金の方法について質問がありました。甲田支部では、環境・健康募金をはじめ他の3種類の募金等(赤い羽根共同募金、日本赤十字社社資、社会福祉協

議会会費)の金額を一律500円に設定し集めている(他の支部では環境・健康募金は300円)こと、清掃活動や除

草作業など、活動の折々で、「環境・健康募金(旧健康感謝募金)を活用した活動」であることを地域住民に伝えることで、募金への理解を高めているとのことでした。

参加した委員からは「地域によって課題が異なり、同じ取り組みでも方法はさまざまある」「行政と公衛協による協働のリサイクル活動には学ぶ点が多

かった」「活動資金を得るためにも、資源回収を取り入れたい」などの気づきや感想がありました。

今後もこのような視察交流を通して、それぞれの地域で活動が活発化するよう期待しています。(地域活動支援センター)



お互いの活動について情報交流(上)、分別回収について現地視察(下)